

話題

- ◆ のむら復興まちづくり 野村高校生「菜園共創プロジェクト」が始動！
- ◆ 平成30年7月豪雨災害追悼献花台を設置します。

◆ のむら復興まちづくり 野村高校生「菜園共創プロジェクト」が始動！

市民、野村高校、各種団体、愛媛大学、東京大学、市などが一堂に集まり、野村地区の復興まちづくりについて話し合う「のむら復興まちづくりデザインワークショップ」。

今年度の合言葉は「テーブル（話し合いをもとに）からフィールド（現場で活動）へ」。

これまでのワークショップの中で、野村高校生から提案のあった「菜園共創プロジェクト」を試行していきます。このプロジェクトは、野村地区の肱川沿いの右岸側（下流に向かって右側）に位置する農地約2,100㎡を活用して、作物や景観作物を試験栽培し魅力ある空間づくりなどを行おうとするものです。

野村高校生はまず、科目の一つである「探求の時間」を活用しプロジェクトの年間計画を作成。時期に応じて必要となる活動や準備物など検討を重ねました。それをもとに、地元の営農団体や技術指導ができる地域の人に協力いただき、植え付けができる状態まで農地を復旧するなど準備を行ってきました。



イメージ写真

▶ いざ植え付けを実施！

5月23日（日）、野村高校生が主体となりヒマワリとサツマイモの植え付けを行いました。この作業は、本来ワークショップ参加者や愛媛大学生など多くの方々に集っていただき行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、最少人数で実施しました。



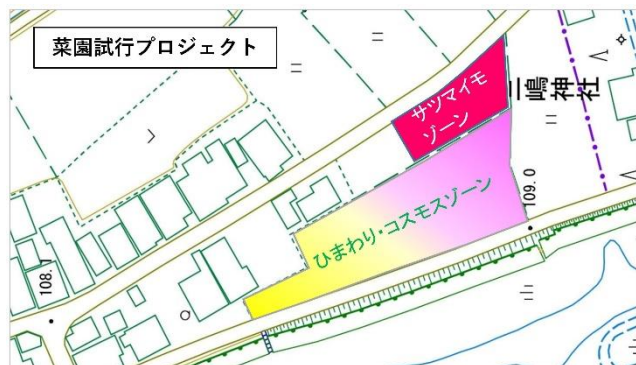
野村高校生は「作業は大変だったけど、楽しくできた」などと話しました。

▶ 展望

作物に、ヒマワリとサツマイモを選んだ理由は、比較的栽培がしやすいことやイベントなどを通じて人が集まるきっかけになるのでは、というアイデアがもとになっています。菜園内には人が

通ることができる通路を設け、散策ができるよう工夫をしました。また、サツマイモは、保育園・幼稚園児や小学生らが地域の人と交流しながら収穫を行うことができるイベントを企画します。

ヒマワリは8月ごろに見頃を迎え、その後コスモスの種まきを行う計画です。秋には、コスモスが咲き誇る中、サツマイモの収穫を行います。冬場には、次の春に向けた作物の種まきなどを計画しています。年間を通じて、多くの人が集い・交流できる場づくりを目指します。



	4	5	6	7	8	9	10	11
ひまわり	耕起	種・苗	草引き	鑑賞				
サツマイモ						収穫		
コスモス					種		鑑賞	

植え付け位置図と年間計画図

▶ 今後について

本プロジェクトは、ワークショップの参加者や地域の人々と交流しながら運営していくことができると考えています。是非、野村高校生のアイディアの実現に向けご協力をお願いします。

また、プロジェクトの進捗はかわら版や広報誌などで広く紹介をしていきますので、見頃を迎える頃に、是非お越しください。

▶ 今年度初の「のむら復興まちづくりデザインワークショップ」を開催

7月8日(木)午後7時から、野村公民館3階で「第13回 のむら復興まちづくりデザインワークショップ」を開催します。プロジェクトの報告のほか、今後の取り組みなどについて幅広く話し合い(ワークショップ)を行う予定です。

市民の方であれば、どなたでも参加可能です。参加を希望される方は、復興支援課または野村復興支援室までご連絡ください。

- | | | |
|-----------|---|--------------|
| ○ 復興支援課 | ☎ | 0894-62-1455 |
| ○ 野村復興支援室 | ☎ | 0894-72-0843 |

◆ 平成30年7月豪雨災害 追悼献花台を設置します。

平成30年7月豪雨災害から3年を迎えるにあたり、犠牲になられた方々に哀悼の意を表すため、下記のとおり追悼献花台を設置し、皆様からの献花を受け付けます。

- 日時：7月7日(水)～9日(金)
午前9時～午後5時(※9日のみ午後3時まで)
- 場所：乙亥会館(野村町野村12-10)
- 備考：献花用の花は会場に準備しています。

会場内での新型コロナウイルス対策にご協力ください。



【お問い合わせ先】 西予市 復興支援課 電話：0894 (62) 1455